

# 資質・能力の3本柱、生活科の三つの視点と内容項目(9項目)の関係

平成28年5月30日  
生活・総合的な学習の時間WG  
資料2-6

**資質・能力の3本柱** : **知識・技能の基礎** (生活の中で、豊かな体験を通じて、何を感じたり、何に気付いたり、何がわかったり、何ができるようになるのか)  
**思考力・判断力・表現力の基礎** (生活の中で、気付いたこと、できるようになったことなどを使って、どう考えたり、試したり、工夫したり、表現したりするか)  
**学びに向かう力・人間性等** (どのような心情、意欲、態度などを育み、よりよい生活を営むか)

**生活科の三つの視点** : **自分と人や社会との関わり(●)**、**自分と自然との関わり(■)**、**自分自身(◆)**

## 生活科の内容項目(平成20年3月告示)

(1)	学校の施設の様子及び先生など学校生活を支えている人々や友達のことが分かり(●), 楽しく安心して遊びや生活ができる(●)ようにするとともに, <u>通学路の様子やその安全を守っている人々など</u> に関心をもち(●), 安全な登下校ができるようにする(●)。
(2)	家庭生活を支えている家族のことや自分でできることなどについて考え(●), 自分の役割を積極的に果たすとともに(◆), 規則正しく健康に気を付けて生活することができるようにする(◆)。
(3)	自分たちの生活は <u>地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所と関わっている</u> ことが分かり(●), それらに親しみや愛着をもち(●), 人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする(◆)。
(4)	<u>公共物や公共施設</u> を利用し(●), 身の回りにはみんなで使うものがあることやそれを支えている人々がいることなどが分かり(●), それらを大切に, 安全に気を付けて正しく利用することができるようにする(●)。
(5)	身近な自然を観察したり(■), 季節や地域の行事に関わる活動を行ったりなどして(●), 四季の変化や季節によって生活の様子が変わること <span style="color: blue;">(■)</span> に気付き(■), <u>自分たちの生活を工夫したり楽しくしたり</u> できるようにする。
(6)	身近な自然を利用したり, <u>身近にある物を使ったり</u> などして, <u>遊びや遊びに使う物を工夫してつくり</u> (■), その面白さや自然の不思議さに気付き(■), <u>みんなで遊びを楽しむ</u> ことができるようにする(●)。
(7)	<u>動物を飼ったり植物を育てたり</u> して(■), それらの育つ場所, 変化や成長の様子に関心をもち(■), また, <u>それらは生命をもっていること</u> や成長していることに気付き(■), <u>生き物への親しみをもち, 大切に</u> することができるようにする(■)。
(8)	<u>自分たちの生活や地域の出来事</u> を身近な人々と伝え合う活動を行い(●), 身近な人々と関わることの楽しさが分かり(●・◆), <u>進んで交流</u> することができるようにする(●)。
(9)	<u>自分自身の成長を振り返り</u> , 多くの人々の支えにより自分が大きくなったこと, 自分でできるようになったこと, 役割が増えたことなどが分かり(◆), これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもつとともに, <u>これからの成長への願い</u> をもって, <u>意欲的に生活</u> することができるようにする(◆)。

※下線は学習対象